

## 兵庫県福祉サービス第三者評価の結果



(承認番号 第582号)

## 1 評価機関

名 称	株式会社 第三者評価 <a href="http://daisansha.lolipop.jp/">http://daisansha.lolipop.jp/</a>
所 在 地	大阪市東淀川区東中島1-17-5 ステュディオ新大阪
評価実施期間	2013年5月23日～2014年3月12日 (最終実地訪問調査日 2014年2月21日)
評価調査者	HF05-1-0098 III・A章担当 リーダ 吉山 浩 HF06-1-0019 I・II章担当 サブ・リーダ 山田 奈津 HF10-1-0001 報告書査読 八巻 芳子

※契約日から評価  
結果の確定日まで

## 2 福祉サービス事業者情報

## (1) 事業者概要

事業所名称： 姫路保育園	種別： 第2種社会福祉事業 児童福祉施設 保育園
代表者氏名： 黒石 芳子 園長 福井 早苗 主任 陰山季世子副主任、田中優副主任	開設年月日： 昭和 22 年 7 月 1 日
設置主体： 社会福祉法人 夢工房	定員 120 人 (利用人数) 136 人
所在地： 〒670-0866 姫路市野里堀留町10-18	
電話番号： 079(222)2529	FAX番号： 079(222)7171
E-mail： himeji@yumekoubou.or.jp	ホームページアドレス： <a href="http://www.yumekoubou.or.jp/hoiku/himeji/page1/main.html">http://www.yumekoubou.or.jp/hoiku/himeji/page1/main.html</a>

## (2) 基本情報

<p>理 念</p> <p>子どもの最善の利益を考慮し利用者主体を根幹に、行政、地域、保育園の緊密な連携を強化し、地域子育て支援の核となる。</p> <p>方 針</p> <p>子どもは豊かに伸びていく可能性をそのうちに秘めている。 その子どもが現在を最もよく生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う。 見るもの、聞くものに好奇心を誘発され、人に認められ、誉められ、喜ばれることにより、</p>
---

自分自身が生きている意味を、子どもなりに感じたり、愛情を沢山注がれた「人間」の、生きる力の大きさを、大切にできる保育と、人から守られるだけでなく、自立していく過程で困難なことや、悲しいことに立ち向かう勇気と気力を育てていくために、成長過程で生じる課題を解決しようとする自立意欲を助長し、それを実践できる機会を大切に考えられる保育を目指す。

## ◎ 力を入れて取り組んでいる点

### 【1】 伝統的な学び

- ・ 和太鼓、琴、合奏、マーチングなどの伝統に培った活動を大切にしている。
- ・ 毎月音楽教室などの外部の講師からの指導があり、月案などの計画に取り入れ、保育の中で子ども達も興味を持って取り組めるようにしている。
- ・ 発表会、お夏清十郎祭りなど、披露する場を作ることで、子どもたちの自信に繋がられるようにしている。

### 【2】 働くお母さんを応援 安心出来る柔軟な対応

- ・ 園内で外部の習い事に参加することが出来る。（水泳教室、英語教室、ピアノ教室、体操教室）
- ・ 警報発令時など緊急時でのメール連絡に対応している。（年2回メールでの連絡が取れているか、確認の配信メールがある。）
- ・ 行事や園での様子の写真販売をスマホやパソコンで確認できるようにしている。
- ・ 保護者の負担を考え、園行事が午前中に終わるよう配慮している。

### 【3】 みんな大好き！ 笑顔が一番！

- ・ 職員が笑顔で接し、園全体で子どもを見ている。
- ・ 新人研修で、笑顔での挨拶を学ぶ機会を作っている。
- ・ 毎週職員会議でクラスの様子を伝え合ったり、事務所の引き継ぎノートを活用することで、その日の怪我や体調不良など色々な状況を共通理解していく事で、担任以外でも送迎時に積極的に保護者とコミュニケーションが取れるようにしている。

### 【4】 こんなこと あんなこと いっぱい楽しいね

- ・ 子どもの個性を大切に、体験活動を多く設けている。
- ・ 園内行事では、3歳未満児・以上児と内容を変えていく事で、その年齢に合わせて分かりやすく伝えたり、参加出来るようにしている。
- ・ 3歳以上児になると、老人ホームへの慰問や、小学校との交流、お城登閣など社会の場を多く設けることで、社会性が身につくようにしている。

### 【5】 おいしく メニューが充実 安全な給食

- ・ 月一回の食育、クッキングの時間を設け、箸や食具の使い方、正しい座り方など年齢に合わせた活動を取り入れている。
- ・ 離乳食の進み具合や月一回の食材進行チェック表を用いて、個別に保育士・栄養士・保護者が話し合う時間を作り、家庭での様子に合わせて園でも進めるようにしている。
- ・ アレルギー児に対して、個別に除去食で対応している。（保護者・担任・栄養士との連携）また誤食がないようダブルチェックを行っている。

職員配置	職 種	人 数	職 種	人 数	職 種	人 数
( )内は 非常勤	園長	1	保育士	13 (1)	事務員	(1)
	主任保育士	1	管理栄養士	2	バス用務員	(1)
	副主任保育士	2	調理員	1 (1)		

児童人数 (平成 25 年 1 月 1 日現在)

0歳児	1歳児	2歳児	合計
11名	15名	22名	
3歳児	4歳児	5歳児	136名
30名	29名	29名	

施設の状況



“黒田官兵衛”の故郷 姫路市で昭和22年に開設(67年の歴史)、多くの卒園生が居て、祖母・母・娘3世代 こちらの保育園に通う御家庭もあります。

1994年より2代目理事長として”笑顔が一番”と職員に元気を与えて下さった黒石幸男様が、2013年12月に永眠されました。4年前の第1回評価で訪問した際、緊張している私達に「思うように評価したら良いよ」と優しい声掛けをしていただきました。この場を借りて、「長い間、どうもありがとうございました。ご冥福をお祈りいたします。」  
3代目新・理事長に、2014年より黒石誠様(前・専務理事)がご就任されています。



姫路市作成 ひめじの官兵衛 見参! パンフレット リンク  
[http://himeji-kanbee.jp/down/images/kanbei\\_web.pdf](http://himeji-kanbee.jp/down/images/kanbei_web.pdf)

<p>しあわせの村夢キャンプ♪</p>	<p>Let's クッキング♪</p>	<p>お年寄りの方と交流会♪</p>
		

<p>Welcome★移動動物園</p>	<p>ハロウィンパーティ♪</p>	<p>姫路ゆめ♪鼓笛隊</p>
		

### 3 評価結果



(承認番号 第582号)

NHK大河ドラマで取り上げられている“黒田官兵衛”の故郷“姫路市で67年間、  
“変化を恐れず” チャレンジを続けてきた保育園です

#### ◇ 特に評価の高い点

- (1) 姫路市内には、平成26年2月現在、公立32+民間75=合計107の保育園があります。厚生労働省・兵庫県が保育サービスの質の向上を目的とし、推奨する福祉サービス第三者評価を受審した保育園は民間の9保育園のみです。  
(受審率 8.4% ⇒ 姫路市は、兵庫県内の他の市の保育園に比べて低い受審率です)  
姫路保育園は、2010年2月の第1回受審に引き続き、2013年4月に改定され難易度がアップした79の基準項目(乳幼児版)で日々の保育サービスの振り返りを行い継続的に改善を実施し、姫路市内で初の第2回受審を行い、その評価結果を公表する事で、「保育所保育指針」が保育園に求める、また厚労省が社会福祉法人に求める『社会的責任』を果たしました。
- (2) 『働く母親の強い味方』で、“安心して働ける、柔軟な対応力”があると保護者より絶賛されています。(2013年12月実施の保護者アンケート結果より)  
子どもの幸せは単独では成り立ちません。子どもの幸せは家族の幸せの中にあると思います。昭和22年の設立以来、67年間の長期間、祖母も卒園生・母も卒園生・子ども3代に渡り、家族の幸せを支援してきた姫路を代表する保育園です。
- (3) 法人が志向する“笑顔が一番”を実践しています。今回、評価に携わった評価者も何度か保育園へ訪問する中で感じたのですが、保護者のアンケート結果からも“職員の笑顔が良い、気持ち良くなる挨拶、真面目さ”が高く評価されています。
- (4) 食に対する評価も極めて高いです。味・見た目の彩・食べやすい為の工夫等、天下一品です。評価者も2度、子どもと共に食事をしました。訪問日2/21(金)の昼のメニューは、プルコギ、ナムル(韓国料理)でしたが、こんなに美味しいの初めてで、子どもと共にお代わりをしてしました。  
子どもの一番人気は、「カレーライス」で、2月の献立では2/3(月)「赤おにカレー」、2/10(月)「ポーク・カレー」と工夫し趣向を変えて、子どもの要望に応じていました。
- (5) 和太鼓やお琴、合奏・マーチング等で感性を育み、近隣の商店街のお夏清十郎祭りでのパレード参加、官兵衛イメージキャラクター「かんべえくん」も来園しました。



☆ 改善を求められる点は1点です。

I-1-(2)-② 理念や基本方針が保護者に周知されている。

入園時に説明したり、掲示したり、保育参観(3月)等でも繰り返し伝え周知している取り組みは確認できました。しかし、プロフェッショナルにとって、取り組んだ結果はどうかは重要です。2013年12月実施の保護者アンケート結果の数値を見る限り、ねらい通りの結果になっているとは思えません。

まず最初に、数値目標を設定し、知恵を振り絞り、どんな手段が有効なのかも含め、あの手この手で試行錯誤される事を期待致します。

★ 今後とも注意深く取り組む必要がある点は3点です。

(1) 保護者満足度をさらに向上させる取り組みは引き続き気を抜かずお願いします。

① 特に、都会の保育園は園庭があまり広くありませんので、かつ 最近の子どもは体力が昔の子どもに比べ弱くなっていますので、外遊び時間や体を使って遊ぶ時間の保護者への見える化

(2歳児うさぎクラス、4歳児きりんクラスから 保育園に対する要望として  
“外遊びの増加” コメント記載あり)

② 長時間保育で担任以外の方が子ども・保護者のお迎えを見送る場合でも  
“その日の子どもの様子”をお迎え時に保護者にほんの一言でも良いので伝える事

(3歳児ぱんだクラス、5歳児幼児クラスから 保育園に対する要望として  
“子どもの様子をもっと伝えて” コメント記載あり)

(2) 子どもの描いた絵や製作あそびで作った物を子どもが家庭に持ち帰り、保育園での思い出が、いつまでも家庭でも飾られておくような仕掛け

(4歳児きりんクラス 保育園に対する要望として “絵画や作品はほとんどないが、子どもの作品を残しておきたいので取り組んで欲しい” コメント記載あり)

(3) “松の木は松の木に育てる” というように職員の得手をさらに伸ばす事が可能な教育体系を既存の教育システムに追加されては如何でしょうか

○ 第三者評価結果に対する姫路保育園のコメント

第三者評価に向けて全職員で取り組むことにより、職員間の意識やコミュニケーションもより高まり個々が学ぼうとする姿勢が見られました。個々の課題だけでなく、保育園の課題なども見つけ出したり、その課題に向けて改善策を全職員で出し合い、取り組むことで保育の向上にもつながったように思います。

また、サービスを行う側としての姿勢や取り組みについても、保護者に対して何が大切なのか、どのようなサービスを保護者や地域の方々から求められているのかなどを考える機会にもなり、全職員で気付き周知できる大切な取り組みにもなりました。

第三者評価を受けることによって、自園の課題や職員一人ひとりの課題を見つける良いきっかけになったと共に、今後の保育園の向上や職員の保育の質の向上に向けてどのような取り組みや意識の持ち方が必要なのかなどについても考えることができました。

今回、見つけることのできた課題を決してそのままにせず、全職員で意識して取り組み、園や職員一人ひとりの向上につながるよう取り組んでいきたいと思います。また、保護者や地域の方々が「姫路保育園に自分の子どもを預けたい」「姫路保育園に預けてよかった」などと思ってもらえるような保育園にしていきたいと思います。

- 各評価項目に係る第三者評価結果 (別紙1)      ○ 各評価項目に係る評価結果グラフ (別紙2)

## 評価細目の第三者評価結果

<p>各項目右端の評価結果欄 a、b、c の表記について</p> <p>a 全ての項目を満たす 目標となる高いレベル</p> <p>b 1つ以上の項目を満たす 標準的レベル</p> <p>c いずれの項目も満たさない 改善が必要なレベル</p>
<p>☆☆ 2回目受審の保育園様ですので、きつめの評価を実施しています ☆☆</p>

### 評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	
I-1-(1)-① 理念が明文化されている。	a
I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	a
I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。	
I-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知され実践されている。	a
I-1-(2)-② 理念や基本方針が保護者に周知されている。	b

#### 特記事項

保育園の職員が一丸となってサービスを提供できるよう法人全体で『保育理念』の共有化に力を入れています。「入園のしおり」や「パンフレット」への保育理念の記載と配布、園内に保育理念を掲示して周知するとともに、職員に対して採用時、年に1回の法人全体研修に加え、職員会議でさらに理解を深める取り組みをしています。

2013年12月、保護者を対象にアンケート調査を実施しました。そのなかで年長クラスの保護者の方から保育理念や目標について「あまり知らない」という回答が数件ありました。それをうけ、次年度から毎月の「おたより」で保育理念について繰り返し説明し、ご理解いただく取り組みを開始します。

保護者に周知していく取り組みは、とても難易度が高い事は弊社でも重々承知しておりますが、この項目に関しては、兵庫県の基準より“きびしめ”に判断し、b評価と致しました。よく知っている+まあ知っている=最低70%以上は確保できる様いくつかの手段を組み合わせ、ねばり強く何度も繰り返し伝える取り組みを期待します。(重要な事は繰り返し何度も何度も)

地域の関係諸機関に対しても、小学校の交流事業等の機会を活かして積極的に周知しています。

★ 2013年12月実施アンケートより 保護者に聞いた「保育園の理念・方針をご存じですか？」への回答結果

保護者さまの回答	(人)	5歳児	幼児クラス	の家庭数	29人	(回収29)	回収率100%
よく知っている	0	(0%)	まあ知っている	13	(45%)		
どちらともいえない	7	(24%)	あまり知らない	8	(28%)	まったく知らない	0 未記入 1

保護者さまの回答	(人)	4歳児	きりんクラスの家庭数	26人	(回収25)	回収率96.2%
よく知っている	2	(8%)	まあ知っている	11	(44%)	
どちらともいえない	7	(28%)	あまり知らない	3	(12%)	まったく知らない 1 未記入 1
保護者さまの回答	(人)	3歳児	ぱんだクラスの家庭数	23人	(回収22)	回収率95.7%
よく知っている	2	(9%)	まあ知っている	11	(50%)	
どちらともいえない	3	(14%)	あまり知らない	5	(23%)	まったく知らない 0 未記入 1

## I-2 事業計画の策定

	第三者評価結果
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	a
I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。	
I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	a
I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	a
I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	a

### 特記事項

一法人複数施設の特徴を活かし、法人全体で取り組む必要がある『人材育成計画』は本部が集中して計画実施しています。園の「中長期計画」は法人全体の中長期計画と連動し、また園個別の事業については地域の特徴を勘案しながら職員や保護者の意見、また姫路市発行の「姫路市の現状についてのデータ資料」の内容を取り入れながら策定しています。

計画は年度当初「安全点検」「ヒヤリハット」「環境整備」等の係・担当ごとに日常の問題と課題を整理し、それを園長・主任・副主任で構成される三役会議で、決められた園のテーマとリンクさせて策定します。また5月、9月、3月に定期的に計画の進捗を確認し、内容をモニタリングしながらより実効性のあるものへと変化させています。この業務の流れがあるので各職員が園の計画の内容を把握・理解でき、責任をもって事業実施にあたることができます。

保護者には入園式と年度末懇談会時に説明し、さらに5月に年間行事予定表を配布し、計画内容の周知に努めています。

### 「中長期計画」の抜粋（平成25年度～29年度 5カ年間） 【 未来予想図 】

平成25年度実施済み	テラス補修、食料備蓄、スポーツ指導者養成講座受講、挨拶運動 他
平成26年度実施予定	園バスシート補修（保護者会への申請）、園児への交通安全指導、緑のカーテン 他
平成27年度実施予定	園バス購入、絵本コーナー増設、ビオトープ 他
平成28年度実施予定	看護師1名採用、リトミック指導、芝張替え 他
平成29年度実施予定	3度目の第三者評価受審、男性保育士採用、屋上緑化、セキュリティ強化 他

◎ 通園バスのシートは間もなく見違える程、綺麗になりますので、子どもたち もうちょっと 待っててなあ

### I-3 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	
I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a
I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	
I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	a
I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	a

#### 特記事項

管理者の役割は「職務分掌・施設長責任義務」の文書で明文化されています。その内容は各クラスに配布・常備されているので、いつでも確認できます。また管理者の役割の評価について人事考課に上位・下位の360°評価を実施し、適切に指導力が発揮されているかモニタリングを実施しています。

保育の質の向上をめざし、入園前と大きな行事（年5～6回）実施ごとに「保護者アンケート」を実施し、保護者の要望を取り入れながら保育の内容の改善に取り組んでいます。また、管理者は常々職員の状態に目を配り、必要に応じて職員の相談にのりサービスの質の安定に努めています。

園の運営には法人全体の管理者が影響するので、法人全体で理事長のリーダーシップ評価も実施しています。人事考課の際に職員が無記名で「理事長のリーダーシップに関する意見」を提出し、理事長が積極的に自身の指導力の改善に取り組んでいます。

遵守すべき法令を「一覧表」にし、コンプライアンス（compliance：法令・社会規範・倫理を遵守することがこれまで以上に重視されており、内部統制システムの構築に取り組むこと等）遵守活動も実施しています。

⇒ 良き社会人が 良き保育サービスを行う

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 経営状況の把握

	第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	
Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a
Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	a
Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査等が実施されている。	a

#### 特記事項

法人で独自に保育制度の有識者と学習会を開き、常に最新の動向について情報を入手し、またそこから将来の経営の予測を立てています。また有識者を招いた研修会を全職員対象に開催し、各園でも職員自ら将来の経営に興味をもつように働きかけています。

また日常業務の中でも各職員がコスト意識をもち、改善に努めています。関西電気保安協会の月1回の定期診断の結果を活用した節電、ごみ袋やビニール手袋の効率的な使用、食器の破損削減等、職員一人ひとりが意識を高め工夫して取り組んでいます。

外部監査は平成25年度も法人全体を含め専門の会計士により実施されていました。

### Ⅱ-2 人材の確保・養成

	第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	
Ⅱ-2-(1)-① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a
Ⅱ-2-(1)-② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	
Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a
Ⅱ-2-(2)-② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	a
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
Ⅱ-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a
Ⅱ-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	a
Ⅱ-2-(3)-③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a
Ⅱ-2-(4) 実習生の受け入れを適切に行われている。	
Ⅱ-2-(4)-① 実習生の受入と育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	a

#### 特記事項

人材の確保・育成について、法人内で複数施設を持っているスケールメリットを活かし効率的に実施しています。そのなかで当園の特徴は、職員がじっくり落ち着いて育成されています。そのため園児や保護者の方々との結びつきが強く、安心して保育が実施できている点です。

研修体制に関しては「法人全体研修計画」と「各園個別の研修計画」を組み合わせ、管理者に必要なマネジメント能力と保育専門職に必要な専門能力両方の育成がなされています。専門職研修では講義形式(受身)の

研修ではなく、ロールプレイや検討を通じ参画する方式で職員の学習効果を高めています。

実習生の受け入れについては、実習生にも初めに園の『保育理念』を丁寧に説明し、理解したうえで実習にあたってもらっています。実習期間中以外にも姫路市を交えて養成機関と連絡会を開催し、実習生の育成を支援しています。

実習生受け入れ実績   平成25年度   3人       平成24年度   6人       平成23年度   6人

## II-3 安全管理

	第三者評価結果
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。	
II-3-(1)-① 緊急時(事故、感染症の発生時など)における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a
II-3-(1)-② 災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	a
II-3-(1)-③ 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a
II-3-(1)-④ 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対処方法については、全職員にも周知している。	a
II-3-(1)-⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している	a

### 特記事項

利用者の安全を確保するためのマニュアル（『保育安全マニュアル』、『給食衛生管理マニュアル』、『感染症対応マニュアル』、『避難訓練の手順』等）は法人全体で整備されています。また毎年見直しも実施されています。マニュアル類はファイリングされクラスごとに配置されているので、職員がいつでも業務の内容を確認でき、何かあった場合に慌てることなく対応できています。

事故や感染症の発生時の取り組みについて、園長が環境の確認を随時実施しています。また日々の取り組みは安全点検係やヒヤリハット係、感染症係、厨房等の担当者と責任者を明確にし、姫路市役所等の関係諸機関と情報交換しながら業務改善に努めています。事故等の報告は主任が責任者となって情報をとりまとめ対応しています。ヒヤリハット事例は月1回ヒヤリハット会議で実践の内容を見直すだけでなく、職員会議でその内容を報告したうえ職員全員で事故防止に取り組んでします。園児が毎日使用する遊具の点検は職員による日常の点検に加え専門業者による年1回点検を実施し、事故防止につなげています。火災に対しても毎月の訓練を通じ、園児の安全確保に努めています。

南海トラフに対する減災対策として、『地震、津波、土砂災害等減災マニュアル』や『通園バス用減災マニュアル』を作成し、職員への教育を行い、大災害時の避難場所を明確にし、「備蓄リスト」を作成し、管理栄養士が管理しています。備蓄（食料、備品）の品揃え、量に関しては一考が必要と思われる。

阪神大震災（1995年1月）から19年経過し、ほとんどの職員が震災後の採用で、また姫路市は被災地ではありませんでした。震災直後の混乱ぶりを当時を知る神戸市や西宮市の保育園で勤務された保育士さんから生の声を聞くような事をご検討下さい。

非常用電源として、自家発電装置があるのは、心強いです。いざという時に直ぐに使用できるよう訓練をお願いします。（大規模な地震発生時、停電となり電灯・冷暖房の使用、インターネットによる通信も不可になる為）

不審者への対応ですが、女性が多い職場という条件を勘案した不審者侵入から警察への通報、警察官が駆けつけるまでの対応のフローを作成し、実効性のある体制を整えています。

II-3-(1)-② 災害時に対する利用者の安全確保のための取組について ; 備蓄の量について

南海トラフ減災の為の備蓄について： 備蓄リストで確認した食料・備品の量では、1日分に達していないと思われます。購入費用、保管場所の問題は重々承知しておりますが、内閣府が想定する地震の規模は、震度6以上です。震度4以上で電車は停止し、震度6で道路上を車が走行する事も難しくなると考えられており、保護者のお迎えは予想以上に遅れます。お迎えまでの間、どうすれば子どもの命を守る事ができるかをご検討下さい。

兵庫県HP 南海トラフ巨大地震津波浸水想定図 播磨地区（2014年2月19日公表） 姫路市

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk38/documents/himezi.pdf>

兵庫県HP 南海トラフ巨大地震の津波浸水想定について（解説）

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk38/documents/nannkaisouteikaisetu.pdf>

II-4 地域との交流と連携

	第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	
II-4-(1)-① 利用者地域とのかかわりを大切にしている。	a
II-4-(1)-② 事業所が有する機能を地域に還元している。	a
II-4-(1)-③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	
II-4-(2)-① 必要な社会資源を明確にしている。	a
II-4-(2)-② 関係機関等との連携が適切に行われている。	a
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	
II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズを把握している。	a
II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a

特記事項

当園は地域での活動の歴史が長く（開園 昭和22年、現時点で67年間の業歴）、その中で時間をかけて地域住民と深いつながりが作られています。その上で園の保育理念を重ねて地域に伝え、自治会と協働し地域の活動に参加しています。

また地域の関係諸機関とは学校を中心に活動をともにしています。小学校とは年4回、オープンスクールの行事の時に園児が小学校を訪問し交流するとともに、職員も小学校の教員と交流しています。また地域にある高校の体育祭に園児がマーチングで参加しています。これは普段小さな子供と触れ合うことのない高校生にとっても、保育体験の重要な機会となっています。

ボランティア受け入れ実績 平成25年度 1人 平成24年度 6人 平成23年度 11人

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。	
Ⅲ-1-(2)-① 利用者の満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	a
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
Ⅲ-1-(3)-① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
Ⅲ-1-(3)-② 苦情解決の仕組みを確立し十分に周知・機能している。	a
Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a

#### 特記事項

(1) 子ども・保護者のプライバシー保護（羞恥心に配慮）は、『プライバシー保護に関するガイドライン』（平成22年2月5日作成）に沿って取り組まれていました。

(2) 2013年12月実施の保護者アンケートは、136人の子ども（99家族）全家族にアンケート用紙を配布し、97家族より回収しました。（回収率 98.0%）

その結果は全体的に高く評価されておりましたが、年齢別では、特になりす（1歳児）、こりす（0歳児）の組の評価が高く、食育活動（美味しい、メニューが豊富、分かり易い）、和太鼓（圧巻の迫力、他ではやっていない）、お夏清十郎祭りのパレード参加等が支持されており、「職員の笑顔が良いので、入園を決めた」との声もありました。（後述A-3に詳細記載）

但し、改善要望もいくつか出ていました。その要因を分析し、改善活動もご検討下さい。

☆ 特に評価が高いクラス [ ポイントは 5 点満点で保護者満足度を絶対評価値 ]

順位	チーム名	ポイント	回収率 (%)
	りす 1歳児チーム	4.8	100% (5/5)
	こりす 0歳児チーム	4.4	100% (5/5)

☆ 特に評価が高い内容

順位	評価が高い内容
	食育（美味しい、メニューが豊富、分かり易い）
	和太鼓（圧巻の迫力、他ではやっていない）
	職員の笑顔

(3) 保護者が意見を述べやすい体制は、玄関入り口直ぐへの苦情解決の仕組みの掲示（第三者委員2名）及び意見ポストの設置があり、相談事をする際の部屋等も確認しました。

姫路保育園 1歳児-りす アンケート結果 2

		2013年12月 総家庭数 5家族		5回収/5件 回収率 100%		
No.	質問	保護者さまの回答 (人)				
		1	2	3	4	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	未記入
<b>Ⅳ 「遊び」 について</b>						
13	園の遊びに、お子さんは満足していると思いますか。	5				
14	園のおもちゃや教材は、お子さんが自由に使えるような体制がとられていると思いますか。	5				
15	お子さんの発達や意欲を促すような道具・玩具が十分に用意されていると思いますか。	5				
16	自然に触れたり地域に関わるなどの散歩や屋外活動は、十分に行われていると思いますか。	5				
17	遊びを通じてお子さんの健康づくりへの取組がなされていると思いますか。	4			1	
18	遊びを通じて物を大切にしたり思いやりの心を育む指導がなされていると思いますか。	4			1	
<b>Ⅴ 「生活」 について</b>						
19	昼寝や休息は、お子さんの状況に応じた対応がされていると思いますか。	5				
20	トイレトレーニングについては、家庭と協力しながらお子さんの成長に合わせて柔軟に取り組んでいますか。	4	1			
21	お子さんの体調について、常に気配りされていると思いますか。	5				
22	献立表やサンプル表示などで、毎日の給食の内容が分かるようになっていきますか。	5				

姫路保育園 1歳児-りす アンケート結果 3



**Ⅹ 総合満足度**

		保護者様の回答 (上段: 人 下段: %)				
		⑤	④	③	②	①
5段階評価 ⇒ 4.8		満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満
回答数 (人)	5	4	1			
		80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%

**【Ⅹ 総合満足度】**

5段階評価

4.8

■満足 ■やや満足 □どちらともいえない ■やや不満 ■不満



### Ⅲ-2 サービスの質の確保

	第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。	
Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a
Ⅲ-2-(1)-② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a
Ⅲ-2-(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。	
Ⅲ-2-(2)-① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている	a
Ⅲ-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。	
Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a
Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a
Ⅲ-2-(3)-③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a

#### 特記事項

<p>(1) 主任・副主任・クラス担任主導で、職員会議の場で評価結果の分析、改善実施事項の優先順位等が話し合わせ実施されています。また、法人内の園長会・主任会・副主任会・栄養士会も毎月のように実施されており、保育サービスの質の向上に積極的な取り組みが実施されています。</p> <p>また、新たな取り組みとして、第三者評価関係の理解度テストを職員全員で2/10（月）に実施しました。そのテスト結果は、残念ながらあまり良いものではありませんでした（平均点 51点 → 目標 60点）ので、その後、第2段階-訪問調査までの約2週間、副主任が率先垂範で猛勉強を実施し、理解度を上げたようです。</p> <p>訪問調査当日、自信に溢れた副主任の頑張った努力の結果は成果となり直ぐに現れていました。</p> <p>(2) 記録の管理、個人情報保護の取り組みは、『個人情報管理規程』により実施されており、紙に記載された個人情報の漏えいの最大の要因である“職員の園外への持ち出し禁止”も明文化されています。</p>
--

### Ⅲ-3 サービスの開始・継続

	第三者評価結果
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	
Ⅲ-3-(1)-① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	
Ⅲ-3-(2)-① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a

#### 特記事項

<p>パンフレット・ホームページ・入園のしおりにサービス選択に必要な情報の記載があり、入園前面接時に、しおりをういて説明しています。「入園の同意書」の内容に理解して、頂いた上で、保護者にサインして</p>
--

もらっています。  
 途中退園・卒園時の保護者への手紙を渡しています。また、夏祭りに、卒園児が参加できるよう、「案内はがき」を送っています。

### Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

	第三者評価結果
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	
Ⅲ-4-(1)-① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	
Ⅲ-4-(2)-① サービス実施計画を適切に策定している。	a
Ⅲ-4-(2)-② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a

#### 特記事項

- (1) 子どものアセスメントは、「経過記録」・「児童票」に記録し、保護者の状況が変化した場合は、その都度赤字で記入し把握しています。「経過記録」は、4期に分け、記入を行っている。  
 全クラス「年間指導計画」・「月案」を作成し、指導の段階で個別の“ねらい”に重点を置き、P (Plan・計画策定) →D (Do・実行) →C (Check・評価) →A (Act・見直し) サイクルで次回の計画へつなげています。
- (2) また、5歳児幼児クラスの「2月度月案」に記載された環境構成の図通り部屋が装備されているか配置状況を照合しました。(知恵を振り絞り工夫して子どもが飽きないように部屋の環境を変えています)

## 評価対象A 実施する福祉サービスの内容

### A-1 保育所保育の基本

	第三者評価結果
A-1-(1) 養護と保育の一体的展開	
A-1-(1)-① 保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	a
A-1-(1)-② 乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a
A-1-(1)-③ 1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている	a
A-1-(1)-④ 3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a
A-1-(1)-⑤ 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	a
A-1-(2) 環境を通して行う保育	
A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	a
A-1-(2)-② 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	a
A-1-(2)-③ 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	a
A-1-(2)-④ 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人物・物的環境が整備されている。	a
A-1-(2)-⑤ 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	a
A-1-(3) 職員の資質向上	
A-1-(3)-① 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	a

#### 特記事項

<p>(1) 法人統一の「保育課程」に沿って、姫路保育園独自の「保育過程」を作成し、「月間指導計画」や「日案」を作成し、『0歳児マニュアル』等に従い、日々の保育を行っています。</p> <p>(2) 以前は、0歳児を主にお昼寝時『SIDSチェックマニュアル』に従い、「睡眠チェック表」（寝ている顔の向き→↑←も含め記載）を記載しています。さらに他府県で1・2歳児でも事故があったというニュースを分析し、対象を3歳児までの園児に広げ、年長組みでも気になる子には実施しています。</p> <p>(3) 特定の保育士と継続的な関わりが持てるように、園児一人ひとりに担当を決め関係性を深めています。</p> <p>(4) 体を動かす遊びや外遊びについて</p> <p>12月実施の保護者アンケートで外遊び時間が少ないのではないかとのコメントがありましたので訪問時どの程度の時間を目標に取り組み、実際はどうかを確認しました。</p> <p>2歳児うさぎクラス、4歳児きりんクラスから保育園に対する要望として“外遊びの増加”コメント記載あり</p> <p>目標としている時間は60分で、お部屋や園庭、お散歩、マラソン等で、雨の日以外は、おおむね60分程度実施されている事を2歳児うさぎ組の2/3（月）の週の「クラス活動予定表」、日誌等で確認しました。</p> <p>ただ、実施している事の保護者への伝達は上手く実施されているとは言えないので、改善を求めました。</p>
--

また、玄関に掲示されている3年前に作成された“お散歩マップ”も①時間の分かるものへ②保育士のセンスが生かされたものに進化させるようお願いしました。

「時空をかける 世界遺産姫路城マラソン2015」(来年2015年2月22日開催予定) 目指して、子ども達が朝10分間のマラソンを実施しています。世界的な課題となっている子どもの足腰・体力強化に役立つ取り組みとされます。

(5) クレヨン・絵具・粘土・紙などを使っての絵画や造詣遊びについて

12月実施の保護者アンケートで絵画や造詣遊びが少ないのではないかとコメントがありましたので訪問時どの程度取り組んでいるか、実際はどうかを確認しました。

(4歳児きりんクラス 保育園に対する要望として “絵画や作品はほとんどないが、子どもの作品を残しておきたいので取り組んで欲しい” コメント記載あり)

お部屋に置かれているクレヨン・絵具・粘土・紙等は、いつでも使える状態になっていましたが、要望が出ていますので、子どもの作品を家に持ち帰る機会の増加を要望しました。

(目標は現状より20%程度のアップから始めて、実施しながら子ども・保護者の意向もご勘案下さい)

(6) 保育士各人は「保育の見直し自己評価表」にて自分の保育の見直しを行い、知識・技量・技を熱心に磨こうと懸命に努力を積み上げています。

(7) 今回、感性を磨いて頂く為に、副主任に異分野からも学ぶよう3カ月で課題図書3冊を回し読みするようお願いします。

『無印良品は、仕組みが9割 仕事はシンプルにやりなさい』、『トヨタの口ぐせ』(中経出版)、  
『灰谷健次郎の保育園日記』(新潮文庫)

☆☆☆ 保育の現場は多忙ですが、何とか時間を作り出し、見事読破されました ☆☆☆

A-2 子どもの生活と発達

	第三者評価結果
<b>A-2-(1) 生活と発達の連続性</b>	
A-2-(1)-① 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	a
A-2-(1)-② 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a
A-2-(1)-③ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。	a
<b>A-2-(2) 子どもの福祉を推進することに最もふさわしい生活の場</b>	
A-2-(2)-① 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状況に応じて実施している。	a
A-2-(2)-② 食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
A-2-(2)-③ 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	a
A-2-(2)-④ 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
<b>A-2-(3) 健康及び安全の実施体制</b>	
A-2-(3)-① アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a

A-2-(3)-② 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	a
---	---

特記事項

<p>(1) 気になる子への対応について：個人別「指導計画」にて、適切に配慮されて養護・教育されている事を確認しました。</p> <p>(2) 長時間保育、保護者支援：高い評価を受けています。(2013年12月実施の保護者の生の声)</p> <p>① 他の園なら申し込みをしなければいけない様な時間外保育も手続きなしで、保育時間が長く、急な残業になっても安心できる。働くお母さんに優しいと思う。(うさぎ)</p> <p>② 園の休日が年末年始3日ずつなので、働く親としてはとても助かる。(幼児)</p> <p>③ 土曜日でも子供を預かってくれる。(友達の所の保育園は土曜日は基本、ダメらしいです)(りす)</p> <p>④ 仕事をしながら安心して預けやすい。(うさぎ)</p> <p>⑤ 親の仕事が多忙で、子供に学習時間を取れない分、園での学習が充実している。(幼児)</p> <p>(3) 食育について：保護者から評価も極めて高いです。味・見た目の彩・食べやすい為の工夫等、天下一品です。評価者も2度、子どもと共に食事をしました。訪問日2/21(金)の昼のメニューは、プルコギ、ナムル(韓国料理)でしたが、こんなに美味しいのは初めてで、子どもと共にお代わりをしました。 子どもの一番人気は、「カレーライス」で、2月の献立では2/3(月)「赤おにカレー」、2/10(月)「ポーク・カレー」と工夫し趣向を変えて、子どもの要望に応じていました。</p> <p>(4) 健康管理について：毎月、法人の保健師作成の「ほけんだより」を各家庭に配布し、「年間保健計画」を作成し、嘱託医の指導に従い、健康診断、歯科検診を定期的実施しています。 『感染症対応マニュアル』、厚労省のガイドラインに沿った『登園停止基準』、『インフルエンザ対応マニュアル』、『ダイアアップ座薬使用マニュアル』等を確認しました。</p>
--

A-3 保護者に対する支援

	第三者評価結果
A-3-(1) 家庭との緊密な連携	
A-3-(1)-① 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
A-3-(1)-② 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	a
A-3-(1)-③ 子どもの発達や育児について、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得ているための機会を設けている。	a
A-3-(1)-④ 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	a

特記事項

職員の笑顔での挨拶 「行ってらっしゃい」、「お帰りなさい」が 保護者より高い評価を得ています。

- ① 入園を決めたのは、先生達の笑顔です。他の園にも見学に行きましたが、姫路保育園が一番明るく、挨拶してくれたからです。今でも先生達の笑顔で子供と触れ合う姿は安心に繋がっていると思います。 (ぱんだ)
- ② 登園時、お迎え時等、挨拶が笑顔で気持ちが良い。 (きりん)
- ③ 仕事をしながら安心して預けやすい。職員の方々が接しやすい。 (うさぎ)
- ④ 先生方がいつも笑顔であいさつしてくれてムラがない。行きは「行ってらっしゃい」、帰りは「お帰りなさい」と、こちらまで気持ち良くなります。 (うさぎ)

ただ、一部の保護者より、長時間保育時のお迎え時の保護者とのコミュニケーションに関し、『言葉掛けが少ないのでは?』との意見も出ています。特に、伝えなければならない伝達事項は、「リスト」に記載し伝えていますが、「その日の子どもの様子」を長時間保育で保育士のシフト面・入れ替わる職員間の伝達等、難易度は確かに高い事ではありますが、保育のプロフェッショナルとして、“わが子のその日の様子、何に目を輝かせたのか、誰と仲が良いのか、苦手な食事でも食べてたのか、排便はどうだったのか? 今、どんな曲を歌っているのか等”を伝える一段の工夫をお願いします。

子どもの幸せは単独では成り立ちません。子どもの幸せは家族の幸せの中にあると思います。

子どもへの虐待発見への見守り体制：

- ① 『児童虐待対応マニュアル』を作成し、会議等で適時読み合わせを行って、「視診チェック表」を用い、外傷の有無などを確認しています。
- ② 外傷などが確認された際には、写真等で状況を詳しく記録しています。
- ③ オレンジリボン運動 ” のぼり” や ” ポスター” を掲示し、保護者にも啓発しています。  
(訪問調査当日、オレンジリボン活動 ” のぼり” が門扉の柱で風に靡いているところを確認しました)

## 訪問調査 (第2段階 最終) 実績報告

ポイント PDCAの継続的改善 (1に改善、2に改善、3・4が無くて、5に改善)	
(1)	兵庫県の評価基準79項目に沿った仕組みがあるか
(2)	業務は標準化されているか (誰が対応しても最低限の質は保証できるか)
(3)	客観性 (マニュアル、記録、掲示) は確保されているか
<b>2014年 2月 21日 (金)</b>	
評価員	山田 奈津 (HP06-1-0019)      リーダー: 吉山浩 (HP05-1-0098 責任者)
9:30	オープニング会議 ① 評価機関より評価者自己紹介、本日の進め方等の説明 ② 主任より園の概要説明、副主任より力を入れて取り組んでいる点、課題説明 ③ 園内見学
10:00	I 章 福祉サービスの基本方針と組織 13項目 II 章 組織の運営管理 23項目 (計 36項目)      III 章 適切な福祉サービスの実施 19項目 A 章 実施する福祉サービスの内容 24項目 ☆ 気になる子(発達障害)全員の個別指導計画を拜見致します。 ★ 各クラスの外遊び・体を使って遊んだ時間が分かる物を確認致します (計 43項目)
★ 保育状況観察、及び 園庭、外構、調理室、トイレ、玄関等巡回	
昼食	園児と同じ昼食を教室でお願ひします 【遠目でアレルギー疾患のお子さんの状況を確認】
13:00	上記の続き      上記の続き
15:30	評価員打ち合わせ
15:40	最終会議 (本日の結果のご説明) ☆ 後日、報告書(案)を送付
16:00	
各人に ①理念 ②方針 ③遵守すべき法令5つ ④得意技 ⑤テストで出した問題 を聞きます	
補足 ① 終了予定時間 16:00頃 ② 適宜、休憩時間を取ります ③ 当日 9:00頃伺います	